

平成27年4月25日(土)～5月6日(水):12日間

ゴールデンウィーク期間中の交通状況(速報)

※比較対象は前年の4月25日(金)～5月6日(火):12日間

【高速道路の交通状況】

①期間中の交通量 全国の高速道路の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	42,700 台／日	42,100 台／日	101%
最大日交通量	60,400 台／日	62,600 台／日	96%

②混雑状況 渋滞回数

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] - [2]
10 km以上の渋滞	328 回	284 回	+ 44 回
内 30 km以上の渋滞	30 回	33 回	▲ 3 回

《各社の特に長い渋滞発生箇所》

会社区分	上下線	道路名	渋滞発生箇所	渋滞日時 (ピーク)	渋滞延長	渋滞原因
東日本	下り線	東北道	岩舟 JCT 付近	5 月 3 日 ( 日 ) 10 時 00 分頃	63.9 km	交通集中及び事故
	上り線	関越道	鶴ヶ島 IC 付近	5 月 4 日 ( 月 ) 19 時 10 分頃	49.0 km	交通集中及び事故
中日本	下り線	東名高速	伊勢原 BS 付近	5 月 3 日 ( 日 ) 7 時 35 分頃	39.3 km	交通集中及び事故
	上り線	東名阪道	四日市 JCT 付近	5 月 5 日 ( 火 ) 16 時 35 分頃	32.4 km	交通集中及び事故
西日本 本四	下り線	中国道	宝塚東 TN 付近	5 月 2 日 ( 土 ) 7 時 05 分頃	28.2 km	交通集中及び事故
	上り線	神戸淡路 鳴門道	舞子 TN 出口 付近	5 月 5 日 ( 火 ) 18 時 50 分頃	45.0 km	交通集中

【国道の交通状況】

①期間中の全国の交通量 全国の国道の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	28,700 台／日	28,600 台／日	100%

②期間中の観光地周辺の交通量 観光地周辺の国道の主な区間

	H27 年度実績 [1]	H26 年度実績 [2]	対比 [1] / [2]
日平均交通量	27,900 台／日	27,600 台／日	101%

我が国の道路交通事故の発生状況は、交通事故件数、交通事故死者数ともに昭和40年代半ばから再び増加しているものの死者数自体は平成5年より減少を続け、平成26年は4,113人となっている。死傷者の状況と特徴を見てみると、65歳以上の高齢者の割合が交通事故死者全体の半数以上の53.3%となっており、重傷者も34.9%と高い割合を示している。幹線道路の整備が進展し、自動車交通をより安全性の高い道路へ転換し、交通事故を削減できる状況になったとはいえ、今後とも道路管理者が関係機関や住民等と協力して交通事故対策の強化を図っていくことに議論を挟む余地は無いが、高齢者の死亡事故を減らすことが喫緊の課題となっている。

主張

と云わざるを得ないのでないだろうか。交通事故死者数を状態別にしてみると歩行中(71.0%)及び自転車使用中(63.9%)の高齢者の割合が他の年齢層と比べ大幅に高いことから、生活道路における効果的な道路交通事故対策の実施が肝要であるといえよう。

生活道路における車両速度が時速30km以下になった場合、時速30km以上の致死率の約4分の1に減少する

という国土交通省の試算から、生活道路の速度抑制を図ることが極めて重要である。同時に車両速度の抑制が危険への認知度が上昇し事故そのものの抑止につながる事は言うまでも無い。そのため、幹線道路等への

高齢者を守るために

道路の新仕様への推進や課題と成果の可視化の推進などの構築に積極的に取り組んで行く必要がある。

具体的には、歩車混在から歩行者・自転車中心の空間へ転換すべく進入抑制策として「スムーズ歩道」や

交通転換を促すとともに①「生活道路の新仕様」を標準化し徹底的な対策を推進、②国等が地元市町村と連携し計画立案等実施可能な仕組みの構築、③住民等関係者が参画できる通学路推進体制の活用による「生活

「交差点狭さく」及び「ライジングボラード」の設置等、速度低減策として「ハンプ」や「狭さく」及び「シケイン」の設置等、さらに歩行者・自転車の幅員を優先して確保し自転車レーンの設置やカラー舗装の敷設を行う必要がある。

また、ビッグデータを活用し、新仕様に沿った計画立案・評価・見える化を推進し速度抑制策や速度低減策を実施し、加えて交通安全対策に

従事する職員数の不足する市町村への国等の支援・連携や住民・利用者等が参画可能な法定協議会を活用していくなどの措置を講じていく。加えて幹線道路等への交通転換のためビッグデータを活用し潜在的な危険

箇所を抽出特定する分析手法を推進するとともに高齢者の歩行中の死傷事故件数のうち、道路横断中の事故が全体の6割を占めることから幹線道路における安全性をより一層高めるため、例えば片方だけの確認で済む等、高齢者の身体的特性に対応した二段階横断歩道の構造の導入などの措置や路肩活用等による道路空間再配分を推進し自転車通行空間の整備やネットワーク化を図る必要があるのではないだろうか。

現在、社会資本整備審議会道路分科会において「機能分化による暮らしの道の再生(交通安全)」として活発な議論が行われているところであると聞いている。交通事故死者の割合が多い高齢者対策はもちろん、不幸な交通事故死者数を今後ますます減するため、効果的で即効性のある提言を期待したい。

駅名	設置箇所	路線名	整備手法	オープン予定	備考
あかいがわ	北海道余市郡赤井川村字都 190 番地 16	一般国道 393 号	単独	H27. 3. 27	
釜石仙人峠	岩手県釜石市甲子町第 7 地割 155 番 4	一般国道 283 号	単独	H27. 4. 21	
あさひまち	山形県西村山郡朝日町大字和合字北又 2724	一般国道 287 号	単独	H27. 10	
日光	栃木県日光市今市 719 番地 1	国道 119 号	単独	H27. 4. 27	
玉村宿	群馬県佐波郡玉村町大字上新田 604 番地 1	国道 354 号	単独	H27. 5	
季楽里あさひ	千葉県旭市イの 5238 番地	市道 1 級 59 号線	単独	H27. 10	
保田小学校	千葉県安房郡鋸南町保田 724 番地	主要地方道 鴨川保 田線	単独	H27. 12	重点候補
FARMUS 木島平	長野県下高井郡木島平村大字上木島 38 番地 1	国道 403 号	単独	H27. 5	
アグリパーク竜王	滋賀県蒲生郡竜王町大字山之上 6526 番地	一般国道 477 号	単独	H27. 4	
くちくまの	和歌山県西牟婁郡上富田町岩崎 555 - 5	近畿自動車道紀勢線	一体	H27. 9	
すさみ	和歌山県西牟婁郡すさみ町江住 808 番地の 1	一般国道 42 号	一体	H27. 9	重点
かつらぎ西	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字笠田東 1271 番地の 28	一般国道 24 号 京奈和自動車道	一体	H27. 5	
たいじ	和歌山県東牟婁郡太地町大字森浦 143 番地の 1	一般国道 42 号	一体	H29	重点
きなんせ岩美	鳥取県岩美郡岩美町新井 337 番地 4	一般国道 9 号	一体	H27. 7	
奥大山	鳥取県日野郡江府町佐川 908-3	一般国道 181 号	一体	H27. 4	
潮彩市場防府	山口県防府市新築地町 2 番地の 3	市道新築地一号線	単独	H27. 9	
上天草さんばーる	熊本県上天草市大矢野町中 11582 番地 24	一般国道 266 号	単独	H27. 4	
うしぶか海彩館	熊本県天草市牛深町 2286 番地 116	一般国道 266 号	単独	H27. 4	
あそ望の郷くぎの	熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字久石 2807 番地	主要地方道 熊本高 森線	単独	H27. 4	

道の駅を19駅追加し、1,000駅に

国土交通省道路局は新たな「道」には、重点「道の駅」に19駅の道の駅を登録したが、重点「道の駅」候補が1駅含まれている。今回の登録された「道の